

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 関西電力株式会社  
 コード番号 9503 URL <http://www.kepco.co.jp>

上場取引所 東 大 名

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 森 詳介

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小槻 百典

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 06-6441-8821

平成21年11月30日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,299,193	△6.7	206,728	—	195,804	—	127,747	—
21年3月期第2四半期	1,392,014	—	△73,126	—	△80,467	—	△52,488	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	140.35	—
21年3月期第2四半期	△57.54	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	6,990,596	1,823,458	26.0	1,994.85
21年3月期	6,970,120	1,706,710	24.4	1,868.08

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,815,684百万円 21年3月期 1,700,355百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
22年3月期	—	30.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,610,000	△6.4	205,000	560.3	173,000	—	113,000	—	124.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	954,698,728株	21年3月期	954,698,728株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	44,514,143株	21年3月期	44,484,261株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	910,195,071株	21年3月期第2四半期	912,180,094株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年7月30日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる可能性があります。  
なお、業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成 22 年 3 月期の個別業績予想(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,350,000	△8.4	160,000	—	130,000	—	78,000	—	85.67

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主たる事業である電気事業では、夏場の気温が前年に比べて低く推移し、冷房需要は減少しました。また、景気は一部に持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい状況にあり、企業の生産活動が低い水準となったことなどから、産業用需要も減少しました。この結果、総販売電力量は、703億9千万kWhと、前年同期に比べて6.7%の減少となりました。

収入面では、販売電力量の減少に伴い電灯電力料収入が減少したことに加え、その他事業営業収益も減少したことにより、売上高は1,299,193百万円と、前年同期に比べて92,821百万円の減収となりました。

一方、支出面では、原子力発電所の稼働率の向上や、燃料価格の低下などを受け火力燃料費が大幅に減少したことなどにより、営業費用は1,092,464百万円と、前年同期に比べて372,677百万円の減少となりました。

この結果、当第2四半期の営業利益は206,728百万円と前年同期に比べて279,855百万円の増益、経常利益は195,804百万円と前年同期に比べて276,272百万円の増益、四半期純利益は127,747百万円と前年同期に比べて180,235百万円の増益となりました。

(参考) 販売電力量 (百万kWh、%)

	22年3月期 第2四半期	21年3月期 第2四半期	前年同期比
電 灯	23,161	23,531	98.4
電 力	47,228	51,913	91.0
計	70,390	75,445	93.3

(注)「電力」には、特定規模需要を含む。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、設備投資額が前年同期に比べて23,987百万円減少(△11.1%)の192,727百万円、減価償却費が195,580百万円となったものの、他社株式の取得などにより、固定資産が20,213百万円増加したことなどから、前年度末に比べて20,475百万円増加(+0.3%)の6,990,596百万円となりました。

当第2四半期末の有利子負債残高は、創出したフリー・キャッシュ・フローを有利子負債の削減などに充当した結果、前年度末に比べて143,741百万円減少(△4.1%)の3,323,248百万円となりました。

また、当第2四半期末の純資産は、四半期純利益を127,747百万円確保できたことなどにより、前年度末に比べて116,747百万円増加(+6.8%)の1,823,458百万円となり、自己資本比率は26.0%と前年度末に比べて1.6%上昇しました。

これらの結果、1株当たり純資産は前年度末に比べて126円77銭増加し1,994円85銭となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

収入面では、電気事業において、当第2四半期の販売電力量が計画を下回る水準で推移したことを踏まえ、販売電力量の想定を平成21年7月に公表しました1,417億kWhを0.2%下回る1,414億kWhに変更したことなどから、電気事業の売上高は減少を見込んでおります。しかしながら、グループ事業において外販売売上高の増加が見込まれることから、連結の売上高は、前回公表と同水準となる見通しです。

一方、支出面では、諸経費の節減に努めますものの、燃料価格の上昇に加え、原子力利用率の低下などによる火力燃料費の増加などを見込んでおります。

以上により、連結ベースの通期の売上高は2,610,000百万円、営業利益は205,000百万円、経常利益は173,000百万円、当期純利益は113,000百万円程度と見込んでおります。

なお、通期の業績予想については、以下のような前提で算出しております。

販売電力量	1,414 億 kWh
為替レート (インターバンク)	95 円/ドル程度
全日本原油 C I F 価格	66 ドル/バレル程度
原子力利用率	78.0%
出水率	97.2%

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項なし
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項なし
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項なし